

免許更新講習(第1領域)

「子どもと子どもを繋ぐ」そして「教師の省察」へと結ぶ

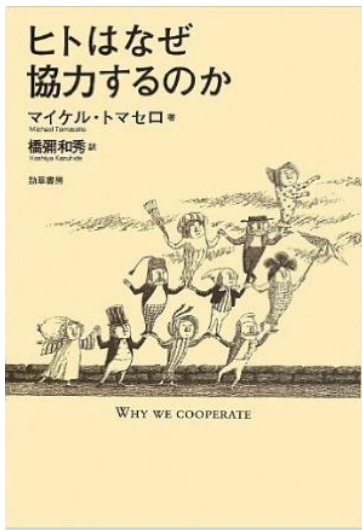
# 世界の教育の動向

今、なぜ「覚える君から、考える君へ」なのか

大阪教育大学 柏木賀津子, Ph.D.

(連合教職大学院 グローバル教員コース担当)

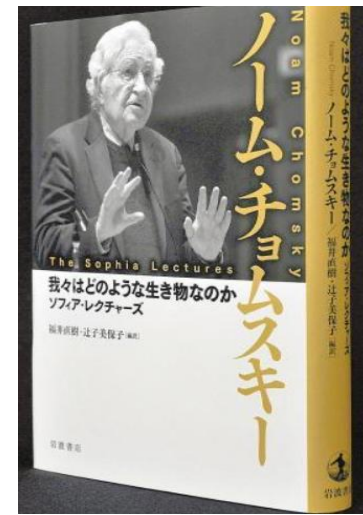
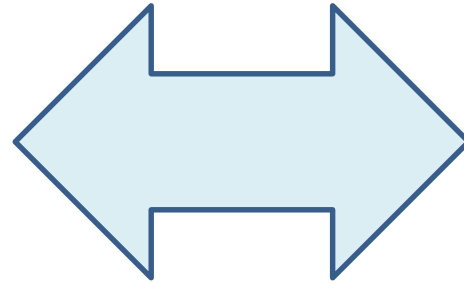
<https://kashiwagi-lab.com>



トマセロ(2013)

山岡俊比古 氏  
SLA→UBM(言語構築)

中森誉之 氏  
SLA→UBM FS



チョムスキー(2000以前)

船城道雄 氏  
Universal Grammar  
(普遍文法)

最近の論文 学習者の文構造への気づき フォーカス・オン・フォーム  
CLIL等

Kashiwagi, K., & Tomecsek, J. (2015). How CLIL classes exert a positive influence on teaching style in student centered language learning through overseas teacher training in Sweden and Finland *Elsevier Procedia–Social and Behavioral Sciences*, 79, 179–184.

学会発表: AESLA (32nd International Conference of the Spanish Association of Applied Linguistics)

Kashiwagi (2012). Children's form-meaning connections to verb phrases and exemplar-based learning in Japanese elementary school. *ARELE*, 23, 17–32.

Kashiwagi (2016). Children's noticing of language structures in the focus on form approach: The role of token frequency and type frequency in the processing of formulaic sequences, *Asia TEFL*, (in press) 16 pp  
学会発表: Asia TEFL

2015. 「音声から文字への5ステップス」(英語教育)

2012. 「小中連携の英語指導」(開隆堂教科書 副編集) etc.

# 社会との関わり・貢献

中部地区英語教育学会 理事

小学校英語教育学会 常任理事

小学校英語教育学会 課題別研究代表「文構造への気づきと小中連携」2011-2014

日本CLIL英語教育学会 理事 J-CLIL西日本 会長 (2018-)

講演 年間15回 程度

(全国英語教育学会WS2016 小学校英語教育学会シンポジウム2015 等)

小中学校へのワークショップ研修 年間25程度

(寝屋川市国際コミュニケーション科座長 年間5回研修WS 2014-2019)

(大阪市やたなか小中一貫校(英語)2012-2015)

(奈良県10か年研修)(奈良市小中一貫校研究会 2005-2009)

(北海道教育大学 小学校教員養成資格PJ講座 2012-2015)

(福岡県教育委員会 小中連携の英語教育講座 2013)

(大阪市中学校英語教育研究会 公開研究会指導 2012-2013)・・・ etc.

# 海外との学術交流

海外教育実習プロジェクト FTー特別総合科目ー発展実習 2010-2016  
(フィンランド スウェーデン イタリア オーストリア 韓国 台湾 授業訪問)

国際シンポジウム 2014 イタリア文科省トレーナー招聘 JES-JAPAN

国際シンポジウム 2015 ユバスキュラ大学 Nikula 教授を迎えて  
【国立大学フェスティバル採択】

「フィンランドの言語教育」



国際シンポジウムワークショップ 2016 4大学リレー開催  
(大阪教育大学 北海道教育大学 早稲田大学 宇都宮大学)

「イタリアのCLILに学ぶ」 「フィンランドの教育に学ぶ」

・・・ etc.

# ユバスキュラ大学客員研究員としての 昨年2018年(応用言語学研究所にて)

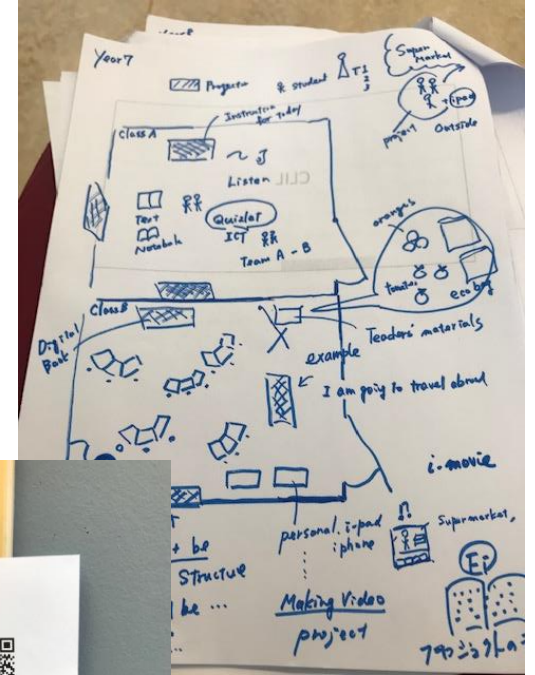
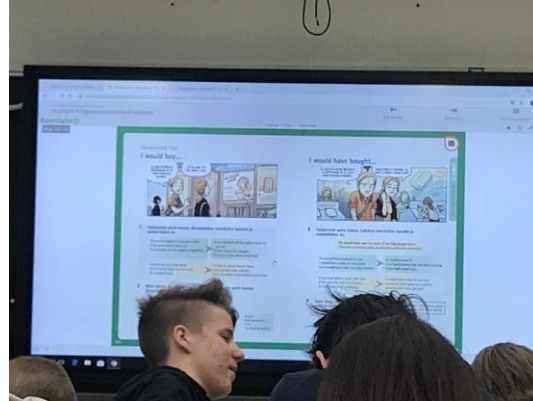


世界にはばたく日本の若者が超えないといけない”WALL“ 日本しかない「教育の底力」  
英語・・・ICTリテラシー(Creation/Learningへ)・・・Active Learningの力・・・

・Generosity&Happiness

惜しみないフォローシップ  
⇒幸せランキング

ではどうやって? How of Learningで支えていきましょう。



フィンランドの教育の最先端から日本への示唆  
8月17日(土)・24日(土)講演します。(13時~本学)へ





はじめます。

# 21世紀の児童・生徒の指導は どのようにあればよいか？



隣の人と、会話を創ってみよう

Ice land is melting  
day by day!

Where are we  
going?

Parents

Teachers

Children



Let me try.  
I can explore! I can think of that!  
I can take my stance  
because I learned how to find  
the way.

# 目の前の生徒は？

- 先生、なにやるんですか？
- 先生、思いつきませんか？
  
- 英語(二つ目の言語)で？ むりです？
- 日本語では？ それもむりです??

誰かが何かしてくれるのを待っている

21世紀にいきる児童・生徒たちで良いか？

Q: 先生として、子供たちに Creation(創造)の時間を確保していますか？

Q: 先生として、子供たちの現状の課題から「問い」を作り、考えをシェアし、議論する、そのような「手続き」のある授業をしていますか？

# 教師たちも、自立して考え、対話しよう

## 自己紹介

### お名前

May I have your name?

### あいさつ

Nice to meet you.

Long time no see you.

Hi, What's up?

## 専門

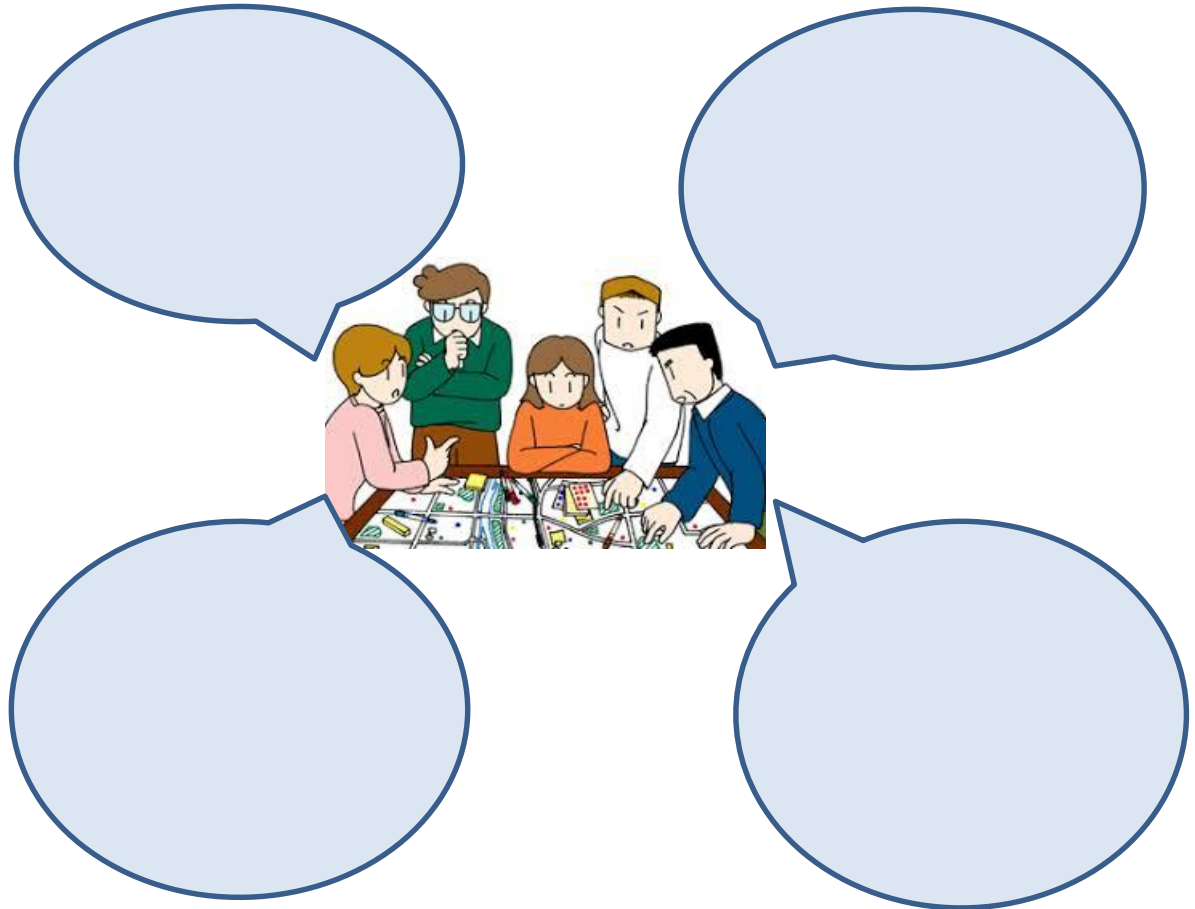
What is your major?

What subject do you like?

## 学校・趣味

...School? ...

Hobbies



ファシリテーター 1  
アンバサダー1

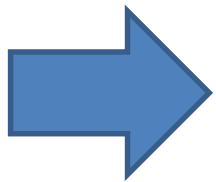
ライター1  
PC-1

# 本日の流れ

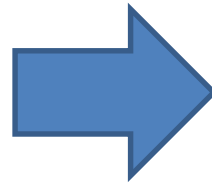
- 1 「手続き的知識」 <どきどき・ときどき体験>
- 2 「世界の教育の動向」データ 授業ビデオ  
<読み解く>
- 3 新学習指導要領(新旧) <比較する>  
21世紀型スキル PISA型学力 グローバル・コンピテンシー
- 4 「連携・対話」はなぜ必要か &  
子どもと子どもを<繋ぐ>

やってみよう! 「問い・思考・対話のある授業」

# ときどき体験コーナー



コインを出して  
やってみよう



授業ビデオ

(**手続き的知識**はどのように教えられているか)

# 手続き的知識 (How of Learning)はどのようにして教えられるのか？

## 宣言的知識 (Declarative Knowledge)

宣言的知識は、言葉で説明できるような知識。  
情報は意識的に保持され、「AならばBである」などの形で表現される。

## 手続き的知識 (Procedural Knowledge)

手続き的知識は、行為に関する知識。  
自転車の乗り方や、実験のプロセスなど、繰り返し意識せずに手続きをとおして学び、似ている場面に再び遭遇した時には、「転移」。知覚したイメージが心の中で「表象」となりえる。



# 授業ビデオを見てみよう

「先生が**手続きを経験**させている場面はどこか？」

「**Creation(創造)**をする場面はどこか？」

オーストリア(理科 × 英語)13歳

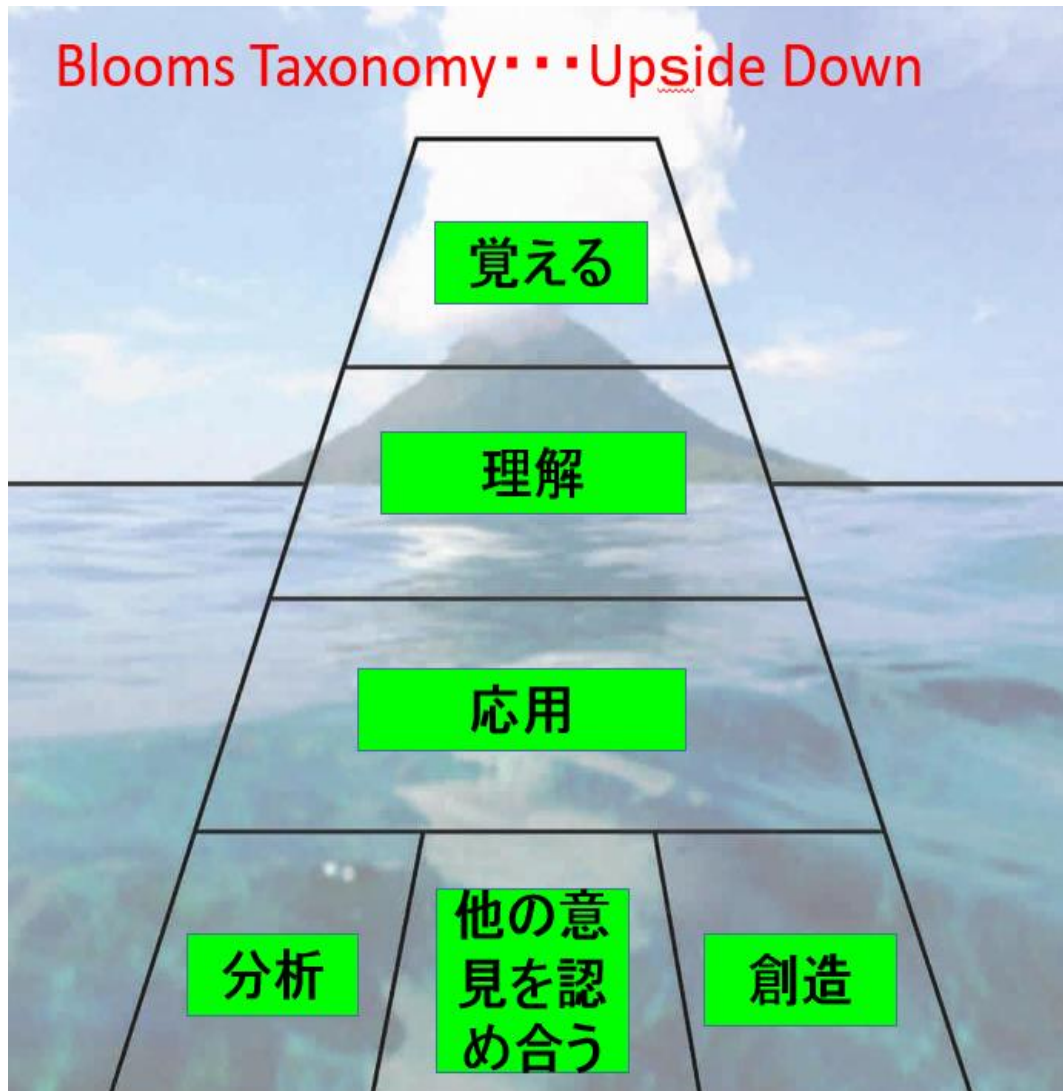
イタリア(生活科 × 英語 × 音楽)8歳 

日本(総合 × 防災 × 英語)12歳

日本(物理 × 英語・仮定法)17歳 + **科学リテラシー**

「答えのない問いを**考える**授業」  
「問題を**解決する****手続きのある**授業」  
は何が異なるか？

# Blooms タキソノミー (教育の目標とされるべき分類体系)



Lowest  
表面的



Highest  
深く学ぶ

7CDFs

CLASSIFY 分類
DEFINE 定義
DESCRIBE 描写
EVALUATE 価値付与
EXPLAIN 説明
EXPLORE 探求
REPORT 報告

-7つの認知的な談話機能 (Dalton-Puffer, C, 2015) を、授業に取り入れているだろうか

-生徒が思考をしている様子を物語る指標として7つある。「分類・定義・描写・価値付与・説明・探求・報告」である。実際にこの指標をもちいて、中学校2年生の教科関連学習での英語授業 (CLIL)での事後英作文をラベリングしたところ、「説明・理由付け・比較・予想・分類・賞賛」が非常に多くみられた。

(自分で発見した、圧倒的、有意なエビデンス)

(柏木・伊藤, 2018)

# Seven CDFs : 7つの認知ディスコース機能

<b>CLASSIFY</b> 分類	classify, compare, contrast, match, structure, categories, subsume 分類 比較 対比 結び付け 構成 類別 包含
<b>DEFINE</b> 定義	define, identify, characterize 定義 確認 解釈
<b>DESCRIBE</b> 描写	describe, label, identify, name, specify 描写 ラベル 確認 名付け 明細化
<b>EVALUATE</b> 価値付与	evaluate, judge, argue, justify, take a stance, critique, recommend, comment, reflect, appreciate 評価 判断 議論 自由 立場 批判 推奨 意見 省察 賞賛
<b>EXPLANE</b> 説明	explain, reason, express, cause/effect, draw, conclusions, deduce 説明 理由 表現 原因/結果 指摘 結論 結果から推論
<b>EXPLORE</b> 探求	explore, hypothesize, speculate, predict, guess, estimate, stimulate, take other perspectives 探究 仮説 推測 予測 推測 見当 刺激 他の視点で考える
<b>REPORT</b> 報告	report, inform, recount, narrate, present, summarize, relate 報告 情報提供 詳述 語り 発表 要約 関係付け

Dalton-Puffer,  
2016, p. 33

# オーストリア授業より (13歳 慣性の法則)

## ディスコース分析 と 7つの認知

授業のやりとり(ディスコース分析)

T: Can you try? Think about the explanation. Go.

S1:(Doing the experiment)

T: Why is it possible to catch the coin?

S2: >Because you are already moving your elbow. <  
You (xx) elbow down. It's almost // (ドイツ語)

T: Stretch.↑

S2: (ドイツ語)

T: Vertical.↑

S2: Vertical. You pass it down, *that* you can grab it.

T: Nearly that. The coin is going to be still here.

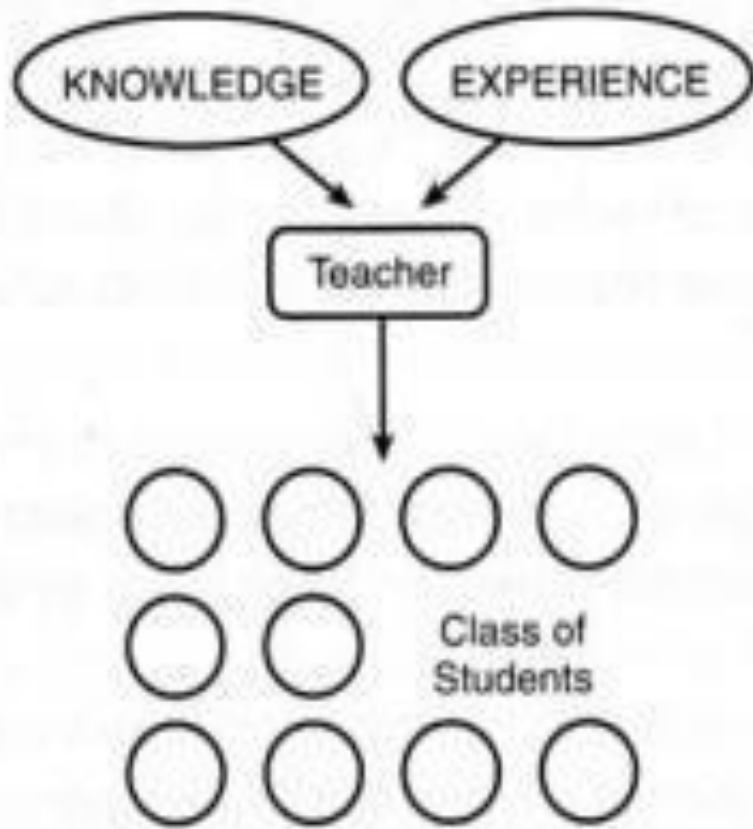
S3: The coin takes some time.

理由付け

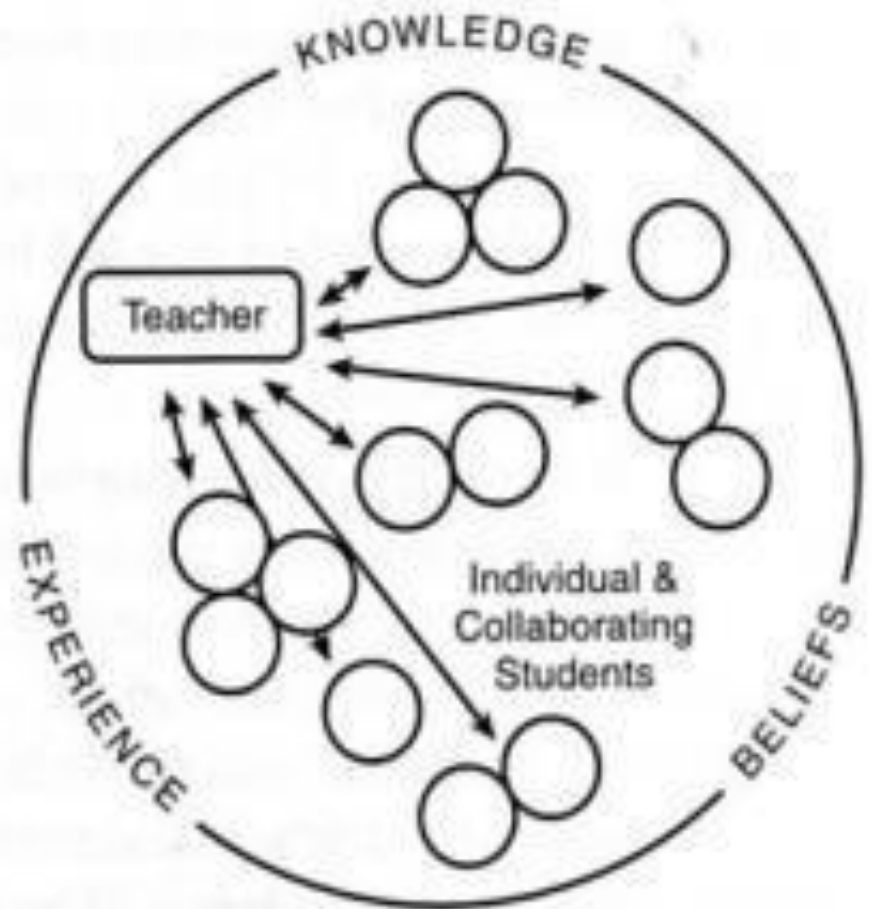
解釈・関連づけ

明確・定義する





Teacher-Centered Learning



Student-Centered Learning

教員にとっても「場数と経験が必要である」授業でどのように子供の創造的な考えを引き出すのか、  
経験と知識とビリーフ(信条)が必要である。理論を学び試して、エビデンスからの信条を得る必要がある。

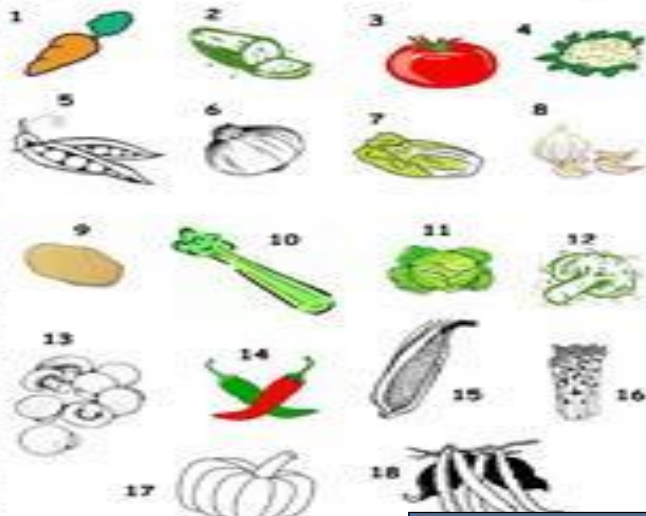
# 考える生徒を育てる授業は 「偶然」では生まれない

- 1 **プロアクティブ** (何が作用し、生徒はどう動き、考えるか予想をしたうえでの授業作り)な教師であること
- 2 生徒の**反応**をよくみて、省察し、改良することが楽しい教師であること ⇔ 子供の状況から「問い」をつくる。
- 3 **社会の動き、科学的現象、思春期の生徒の心の動き** アンテナを高く上げ、目の前の生徒への授業を考える教師であること



Match words and pictures

- asparagus
- broccoli
- cabbage
- carrot
- cauliflower
- celery
- chili peppers
- corn
- cucumber
- garlic
- green beans
- lettuce
- mushrooms
- onion
- peas
- potato
- pumpkin
- tomato



Write the words (more than 1 answer possible)

1. Orange vegetables : \_\_\_\_\_
2. Vegetables that make you cry : \_\_\_\_\_
3. Veggies that are usually eaten raw : \_\_\_\_\_
4. Veggies you don't like : \_\_\_\_\_

同じ、What is it?

What group does it go?

# ワークシートB

What is it?

	Food	Leaf	Root	Stem	Fruit	Seed	Flower
Broccoli							
Asparagus							
Carrot							
Cauliflower							
Pepper							
Peanut							
Bean							

# ワークシートA

# 柏木ゼミ「1日の動作」授業研究から

A-B どちらが「単語・表現・知識」で「思考・判断・手続き」か？

Let's Play 2 おはじきゲーム

おはじきを使ってやってみよう。

## ワークシートA

## ワークシートB

どのくらいの水を使っているか調べてみよう！

Name ( )

水を使うこと	A. 1回に使う量(L) (How Much Water)	B. 1日に使う回数(回) (Times)	1日に使う量 (A×B)
	12L		
	5L		
	10L		
	60L		
	200L		
	80L		
	70L		
合計：			L

# どのくらいの水を使っているか調べてみよう!

Name ( )

水を使うこと	A. 1回に使う量(L) (How Much Water)	B. 1日に使う回数(回) (Times)	1日に使う量 (A×B)
	12 <sub>L</sub>		
	5 <sub>L</sub>		
	10 <sub>L</sub>		
	60 <sub>L</sub>		
	200 <sub>L</sub>		
	80 <sub>L</sub>		
	70 <sub>L</sub>		

合計：

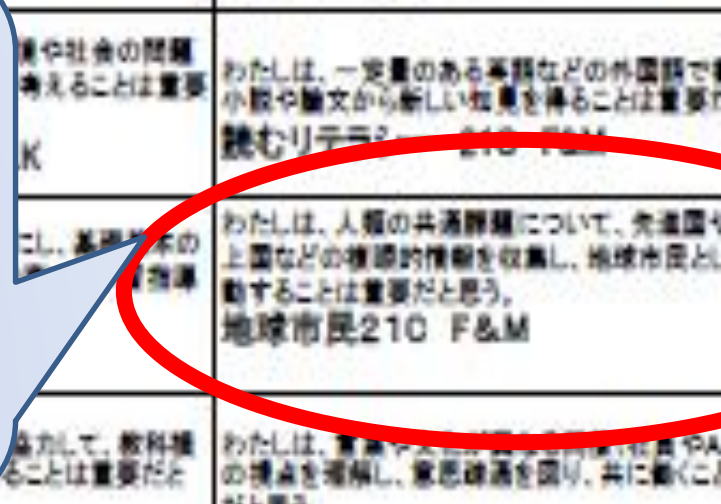
L

★21世紀型ポートフォリオ(2018年版).pdf

[21世紀型ポートフォリオ]55項目 大阪教育大学 教職大学院(柏木賀津子)

	C メタ学習・転移スキル	D 教員として教えるためのスキル	E グローバル社会対応するスキル
人と関わり	わたしは、自国と他国の文化・芸術・歴史を学び吸収し、異なる人にもその学びを伝えるは重要だと思う。 21C-F	わたしは教員として、生徒が自分の言いたいことを聞いたり伝えたりできるよう、適切な題材をもちいて自分の考えを伝え合う授業をすることは重要だと思う。 伝え合う指導 F&K	わたしは、日本を訪問した外国の方が困って外国語(相手の母語)や英語、ジェスチャー等を助けることは重要だと思う。 異文化&柔軟 M&O
学習の場	わたしは、職場で学んだ結果やアイデアを図式化・視覚化して他者にわかりやすく伝えることは重要だと思う。 21C F	わたしは教員として、生徒がデジタルスキル(文書作成、表計算、パワーポイントなど)を使いこなせるよう指導することは重要だと思う。 デジタルスキル指導 F&K	わたしは、英語などの外国語で、相手の言いたいこと聞いたり、自分の言いたいことを伝えたりすることは重要だと思う。 外国語&伝え合う21C F&M
関心をもつ	わたしは、人類の共通課題について、自分の専門分野を超えて関心をもち、広い視野でものごとを考えることは重要であると思う。 21C 転移スキル F	わたしは教員として、今日的な素材(論文・新聞・WEB)から生徒のニーズに応じた教材選択や作成をすることは重要だと思う。 F&K	わたしは、英語などの外国語で、人に分かりやすく、自分の考えを表現したり発信したりすること。 外国語&発信21C F&M

わたしは、人類の共通課題について、先進国や発展途上国などの**複眼的情報**を収集し、地球市民として考え行動することは大事だと思う  
(21世紀型スキル)





# OECDが目指すキーコンピテンシー(2003年)

「複雑な文脈で異質なグループで相互作用的に言葉やテクノロジーを用い、個人的なプロジェクトを設計し実行する」

## カテゴリー1：相互作用的に道具を用いる

- 1-A 言語 シンボル テキストを相互作用的に用いる能力 (Ability)
- 1-B 知識や情報などを相互作用的に用いる能力
- 1-C テクノロジーを相互作用的に用いる能力

## カテゴリー2：異質なグループにおいて相互に関わりあう (Interacting)

- 2-A 他者と良い関係をつくる能力
- 2-B 協同する能力
- 2-C 葛藤 (Conflict) を調整し、解決する能力

## カテゴリー3：自律的に行動する

- 3-A 大きな展望 (Big Picture) の中で行動する能力
- 3-B ライフプランや個人的なプロジェクトを設計し行動する能力
- 3-C 権利、利害、限界、ニーズを主張する能力

(Ruchen & Salganic, 2003)

PISAの調査は、教育課程の国際的な通用性を見るために生まれた。

それは教育を改善するためのもので、順位を競争するためではないのである。

# 世界の文脈で教育を捉えよう

## 資料①

テキスト 7頁から14頁 の資料から分かることを出し合う。

## 資料②

引用URLの検索は、PCかiPadを使ってください。

14頁の左側の【現状】にキーワードで、まとめよう。

個人で5分⇒グループで15分

①世界の教育の動向は？

②比較して、日本の教育の現状と課題は？

# フィンランドGun校長先生と語る PISA調査結果2012 2013. 12. 4の日のこと



グラフ資料で OECDを探検しましょう。



データ資料で OECD国を探検しましょう。

7頁～14頁に、補足・解説をしてみます。

# 資料① 2012年PISA調査 平均得点

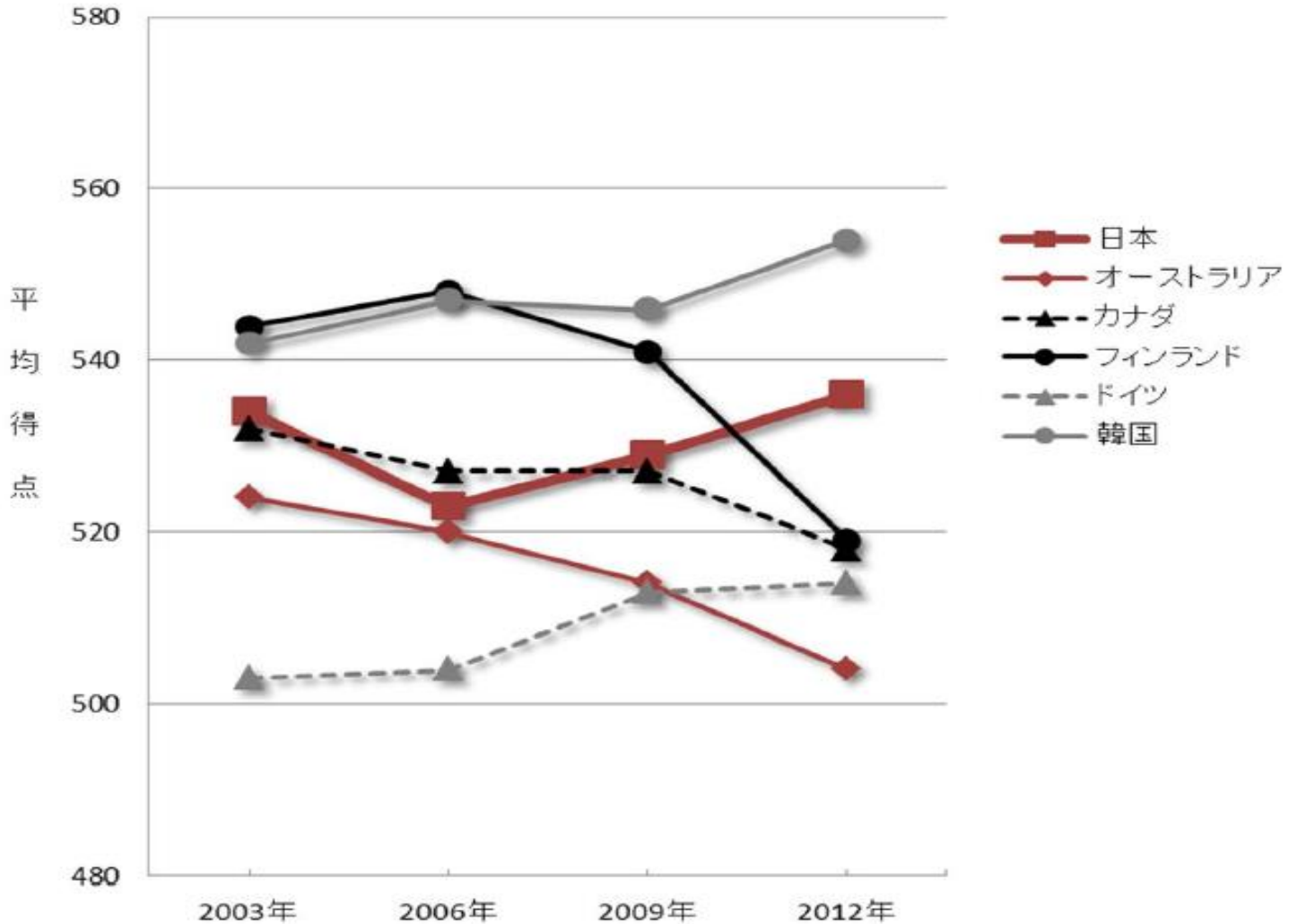
表1は、2012年調査における各国の分野別の平均得点を示したものである。

表1 PISA2012年調査における平均得点の国際比較

順位	数学的リテラシー	平均得点	読解力	平均得点	科学的リテラシー	平均得点
1	上海	613	上海	570	上海	580
2	シンガポール	573	香港	545	香港	555
3	香港	561	シンガポール	542	シンガポール	551
4	台湾	560	日本	538	日本	547
5	韓国	554	韓国	536	フィンランド	545
6	マカオ	538	フィンランド	524	エストニア	541
7	日本	536	アイルランド	523	韓国	538
8	リヒテンシュタイン	535	台湾	523	ベトナム	528
9	スイス	531	カナダ	523	ポーランド	526
10	オランダ	523	ポーランド	518	カナダ	525
11	エストニア	521	エストニア	516	リヒテンシュタイン	525
12	フィンランド	519	リヒテンシュタイン	516	ドイツ	524
13	カナダ	518	ニュージーランド	512	台湾	523
14	ポーランド	518	オーストラリア	512	オランダ	522
15	ベルギー	515	オランダ	511	アイルランド	522
16	ドイツ	514	ベルギー	509	オーストラリア	521
17	ベトナム	511	スイス	509	マカオ	521
18	オーストリア	506	マカオ	509	ニュージーランド	516
19	オーストラリア	504	ベトナム	508	スイス	515
20	アイルランド	501	ドイツ	508	スロベニア	514
21	スロベニア	501	フランス	505	イギリス	514
22	デンマーク	500	ノルウェー	504	チェコ	508
23	ニュージーランド	500	イギリス	499	オーストリア	506
24	チェコ	499	アメリカ	498	ベルギー	505
25	フランス	495	デンマーク	496	ラトビア	502

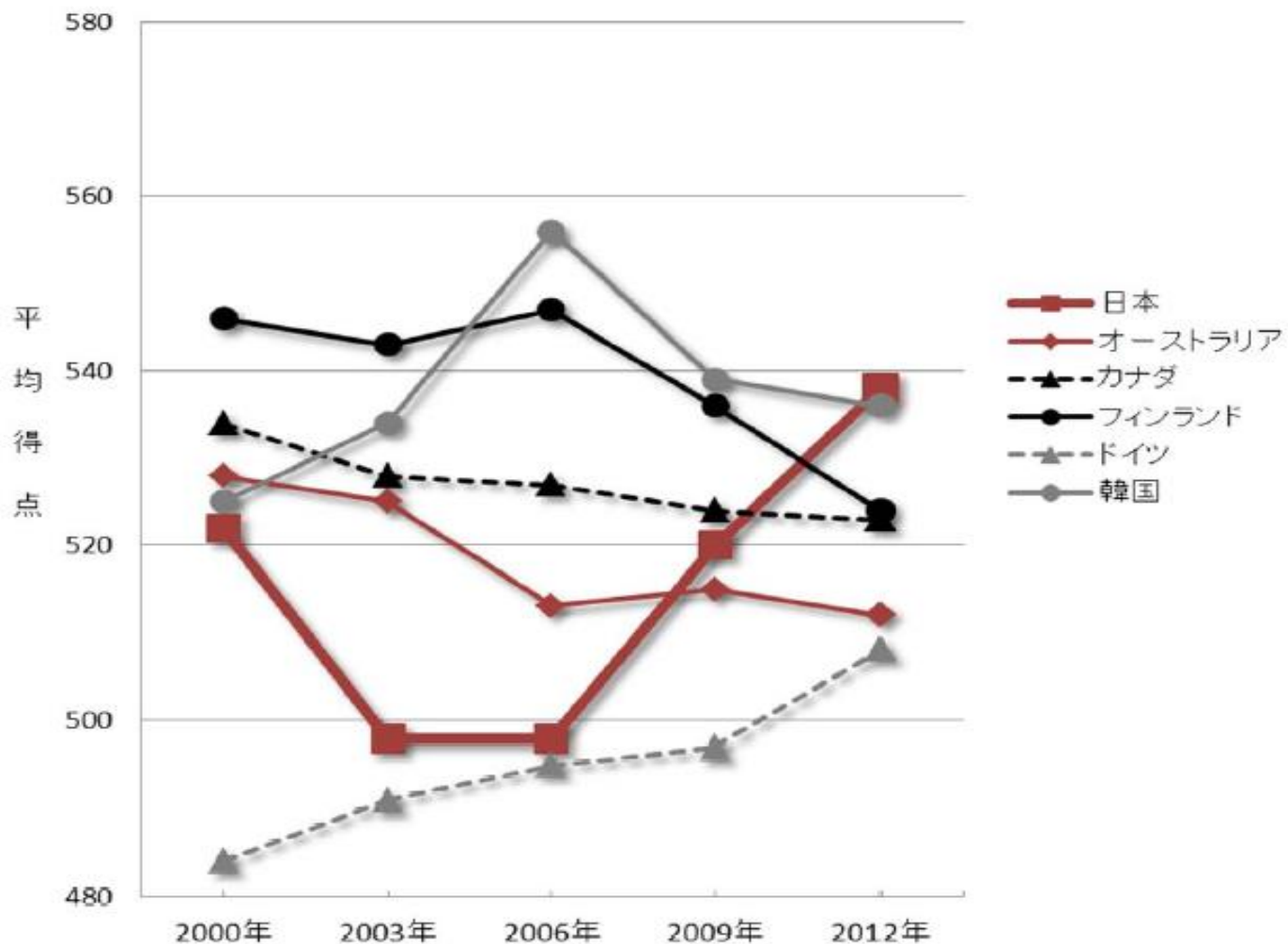
# 資料② 2012年 数学的リテラシー

図 10 数学的リテラシー平均得点の経年変化 (6 か国)



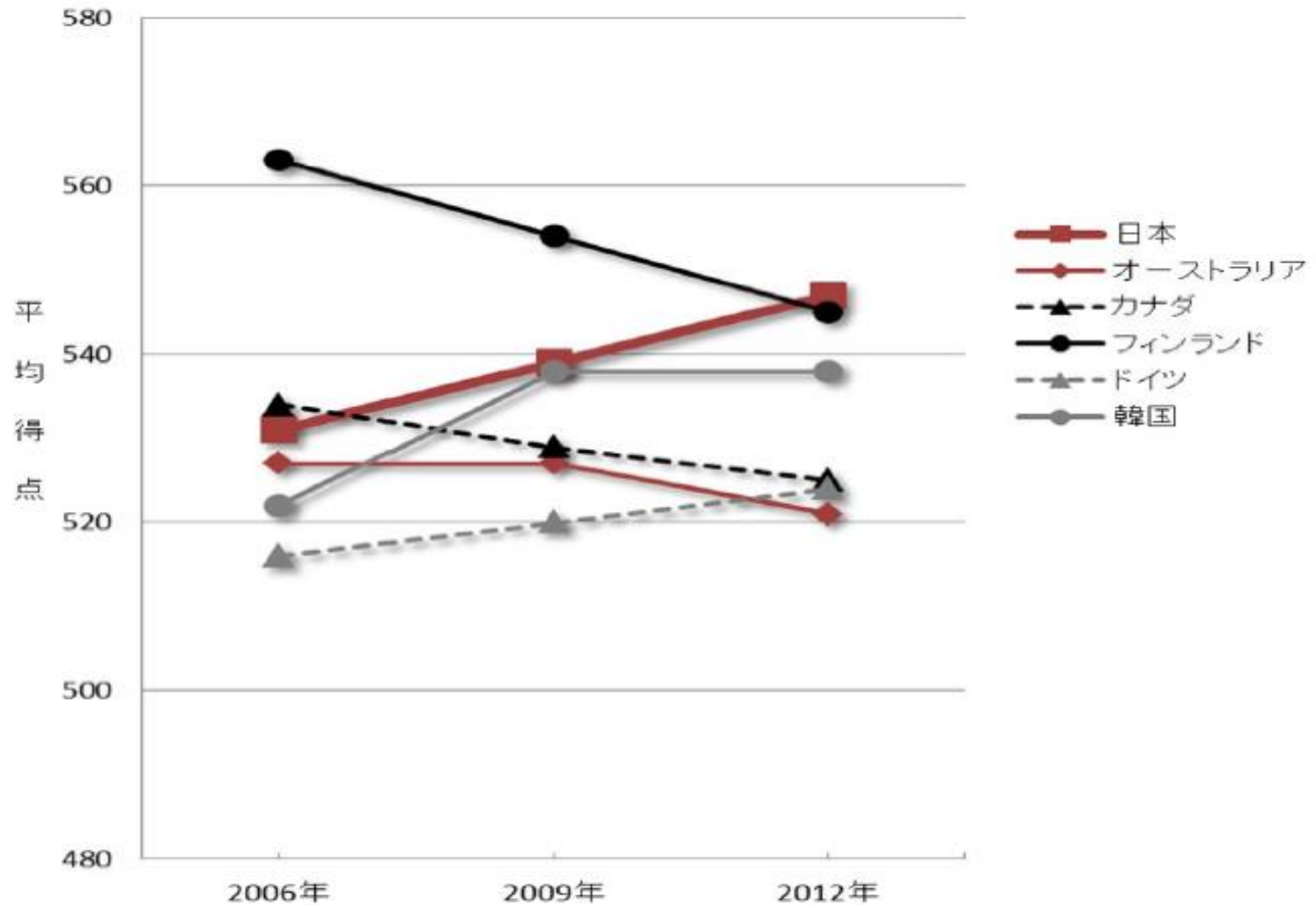
# 資料③ 2012年 読解力リテラシー

図 14 読解力平均得点の経年変化 (6 か国)



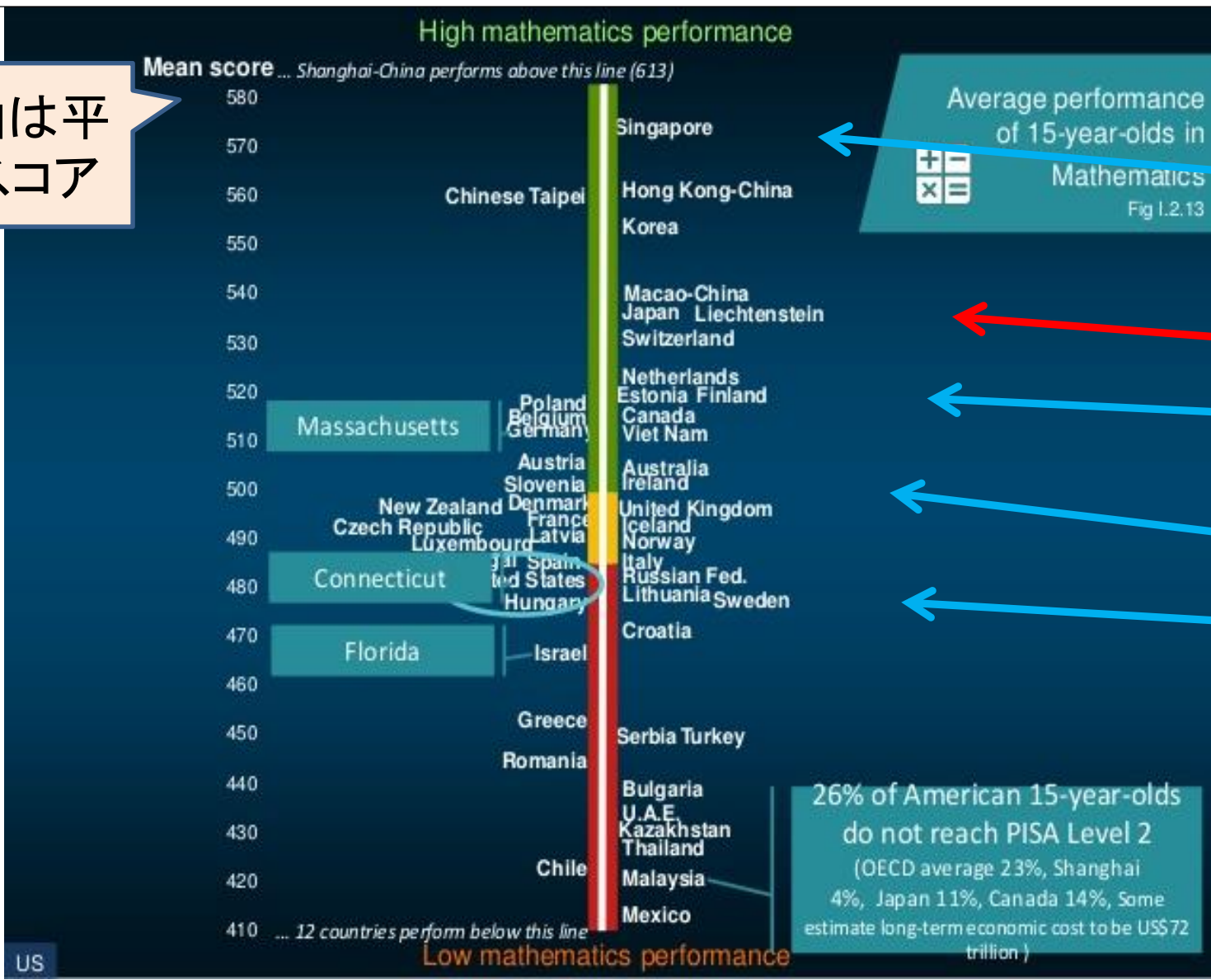
# 資料④ 2012年 読解力リテラシー

図 15 科学的リテラシー平均得点の経年変化 (6 か国)



# 資料⑤ 2012 数学分野の概観

縦軸は平均スコア



シンガポール

日本

フィンランド

オーストラリア

スウェーデン

# 資料⑥ 2012 数学のパフォーマンス平均と自己効能間の相関

縦軸-平均スコア  
横軸-自己効能感



# 資料⑦ グローバル社会の傾向が教育システムを形作る (重要ポイントになる)

5

## Global trends shape our education systems...

グローバル経済



International trade  
& global economic  
integration

移民と多様なコミュニティ



Migration and  
more diverse  
communities

デジタル社会とスキル



The digital society  
and changing  
skills demands

Peace and  
security

格差と民主主義



Rising inequality  
challenging social  
contract, citizenship  
and democracies

老齢化社会と家族モデル



Ageing and new  
family models

気候変動 災害



Climate change  
fueling natural  
disasters



VUCA world  
Complexity and  
pace of change

複雑化・変化のスピード加速

**High-quality schooling more important than ever before**

現在までもっとも、高い質の学校教育が重要になっている。



# 資料⑧ 生徒 教員 教育 学びへのパラダイムシフトが起こっている

8

Today...

- Global megatrends and how they shape the world today and tomorrow
- **Implications for students, teachers and learning: shifting paradigm**
- **What is the evidence? (and what evidence do we use in our work)**
  - Overview of OECD work on teachers and evidence we use in our work
  - A few illustrative examples of comparative evidence
    - Qualitative insights from multi-stakeholder interviews
    - Qualitative insights from policy reviews
    - Quantitative insights from data
  - Use of evidence for policy reform

## エビデンスの 重要性

- ・グローバルな傾向から未来の教育を創っていく。
- ・国際比較のデータから、質的な洞察を提案する。
- ・エビデンスを教育政策改革に使うべき。

# 資料⑨ 複雑化する教師の仕事内容 (急激な変化)

16

## What implications for teachers and teaching?

- Teaching = an increasingly complex job
- Content and pedagogical knowledge as core

...ges: need to integrate horizontal  
...blem solving, innovation, creativity,

...sis on character building, value:  
...e classrooms

... also globalised societies, indigeno  
...al needs students)

...profound transformation of the educatio  
...ich will involve

...preparation of new teachers,  
...embracing a mindset of continuing professional learning for  
...eady in the profession

- ・教育システムを  
変革していく
- ・指導法
- ・新任教員のレ  
ディネス多様化
- ・教師として学び  
続けることへ  
マインドセット

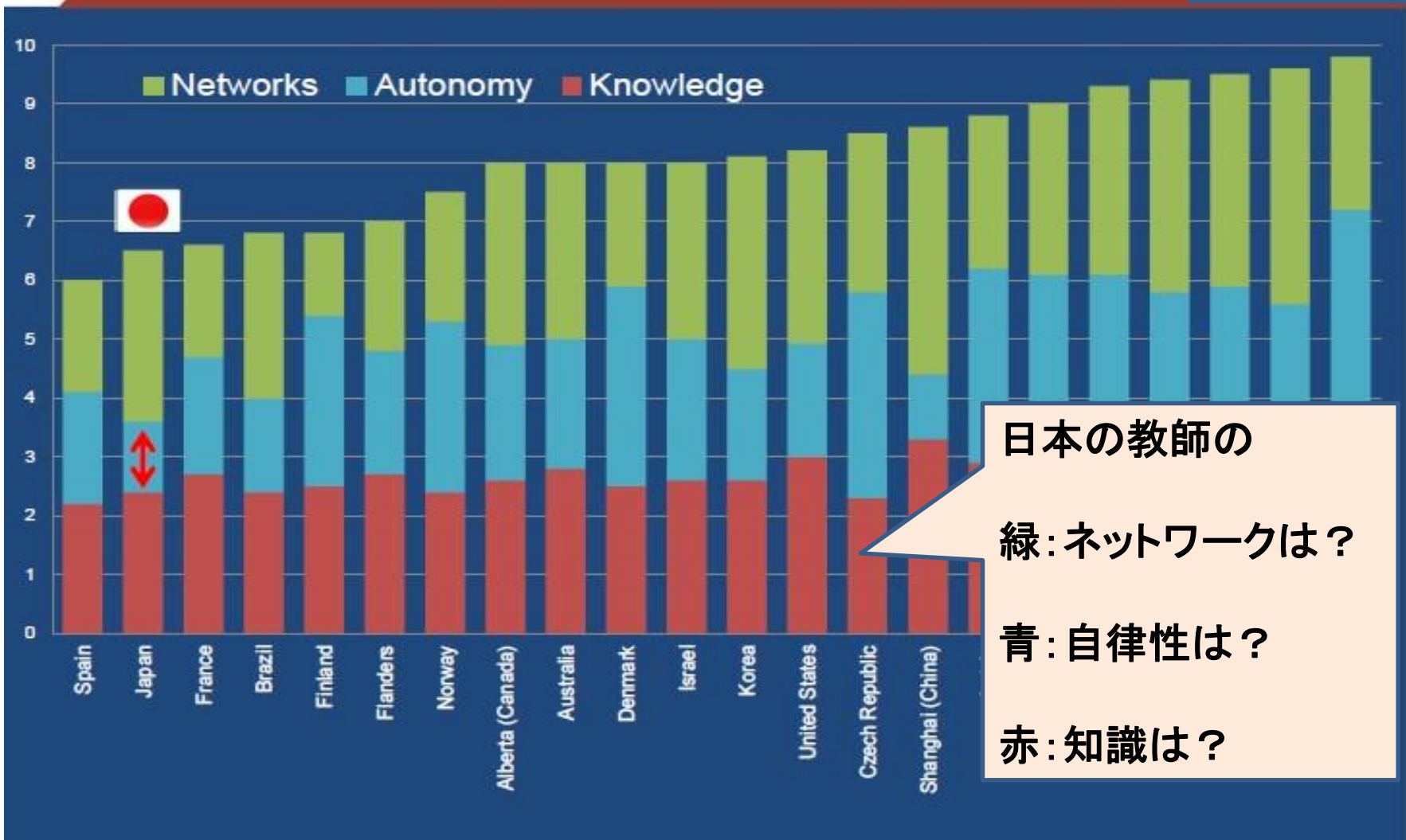
- ・教える⇒複雑化
- ・内容と、教授法の知識が、コア
- ・批判的思考や 問題解決 イノベーション 創造性
- ・社会感情マネジメントスキル
- ・移民との葛藤
- ・マイノリティ
- ・特別支援多様化

# 資料⑩ タリス教員専門性インデックス

データを読み取ってみよう。

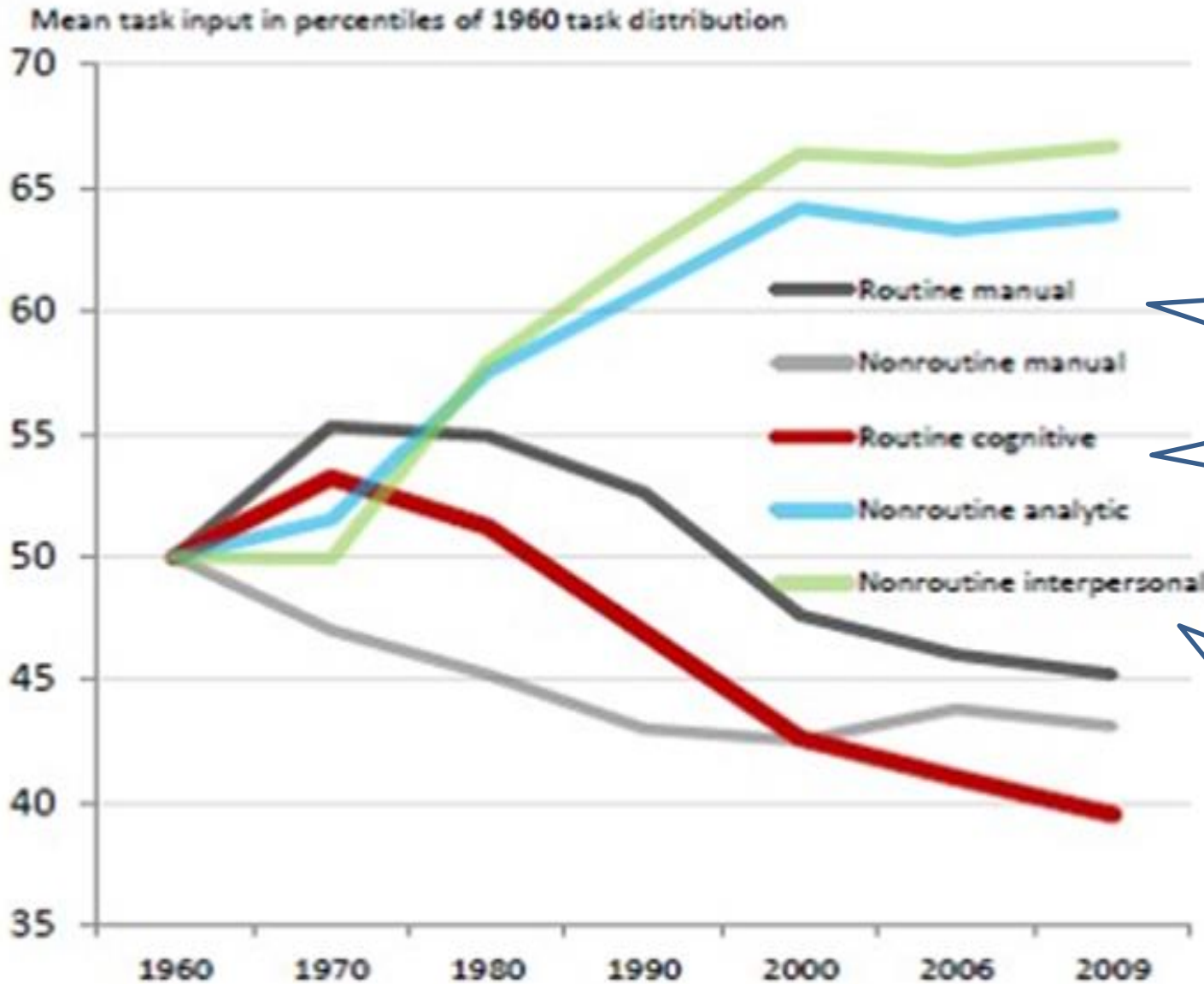
20

TALIS teacher professionalism index



日本の教師の  
緑: ネットワークは?  
青: 自律性は?  
赤: 知識は?

# 資料⑫ 1960~2009年 仕事内容変化



データを読み取ってみよう。

黒  
ルーティーンで  
マニュアル的

赤  
ルーティーンで  
思考的な仕事

黄緑  
ルーティーンで  
はなく、人との  
関係性とする  
仕事

## 5 common curriculum redesign issues...

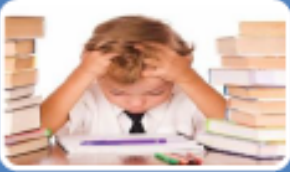
A framework for 2030 learning (aspirational skills)

A curriculum content mapping exercise (diagnosis tool) to inform curriculum redesign



1. Management and to

OECD 2030年にむけての問題



2. Curriculum

1 未来の必要性と 現行カリキュラムとの  
タイムラグを考える



3. Quality

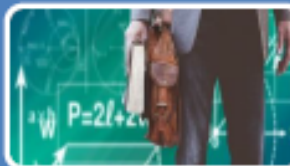
2 カリキュラムの負荷が高くなる

3 内容の質(焦点化 厳正さ 一貫性)



4. Ensuring

4 生徒間の平等性を保つ



5. Planning

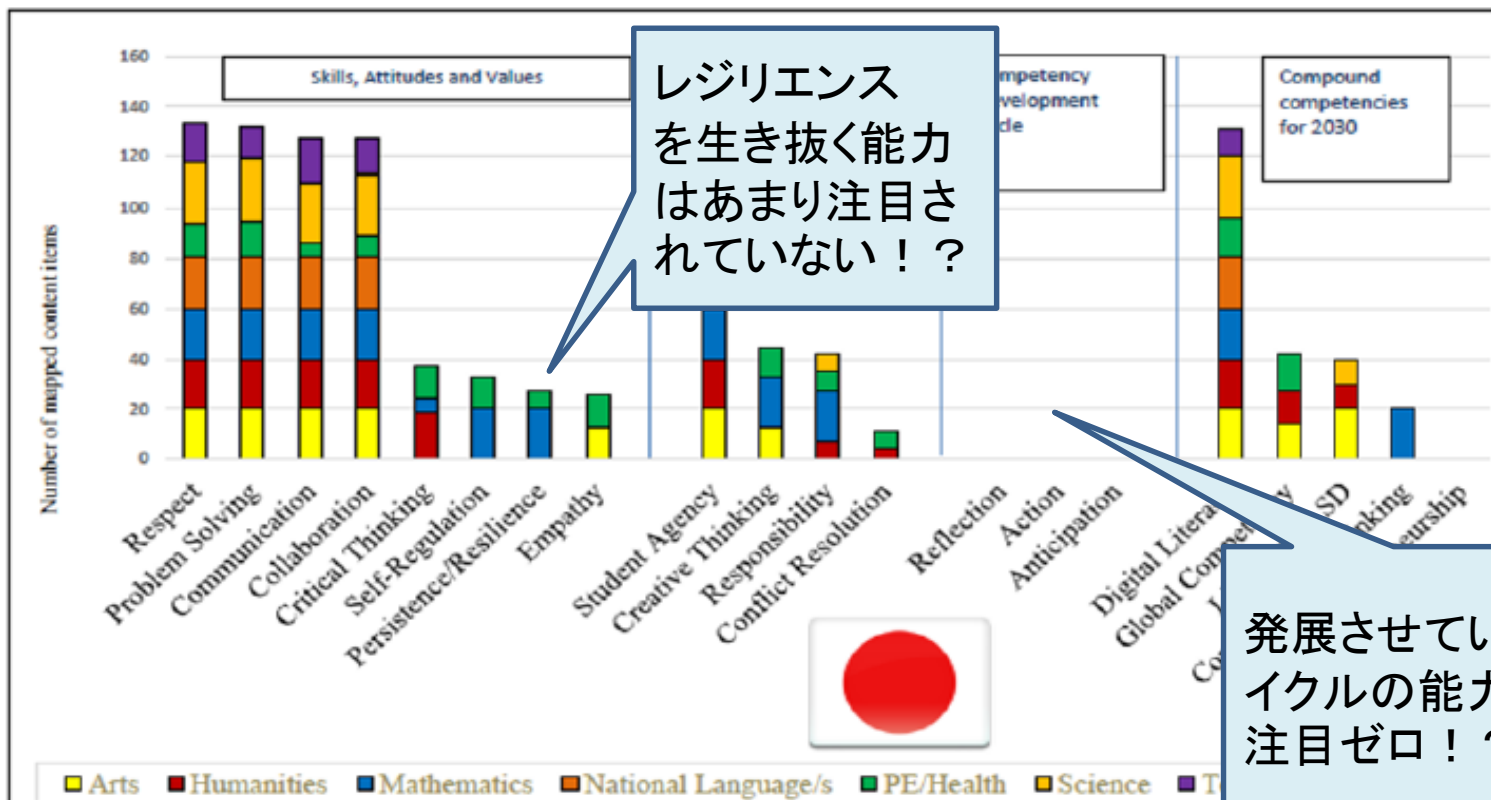
5 効果的な指導法と評価の在り方

# 現行のカリキュラムで、主として取り入れられている コンピテンシー（日本）

30

Some of the new demands are accommodated in current curriculum, others are less articulated/explicit

Current curriculum and 2030 aspirations : preliminary findings of mapping exercise  
Main target competencies by learning areas (ISCED 2, Japan)



レジリエンス  
を生き抜く能力  
はあまり注目さ  
れていない！？

発展させていくサ  
イクルの能力は、  
注目ゼロ！？

# 現行カリキュラムで、主として取り入れられている コンピテンシー (オーストラリア)

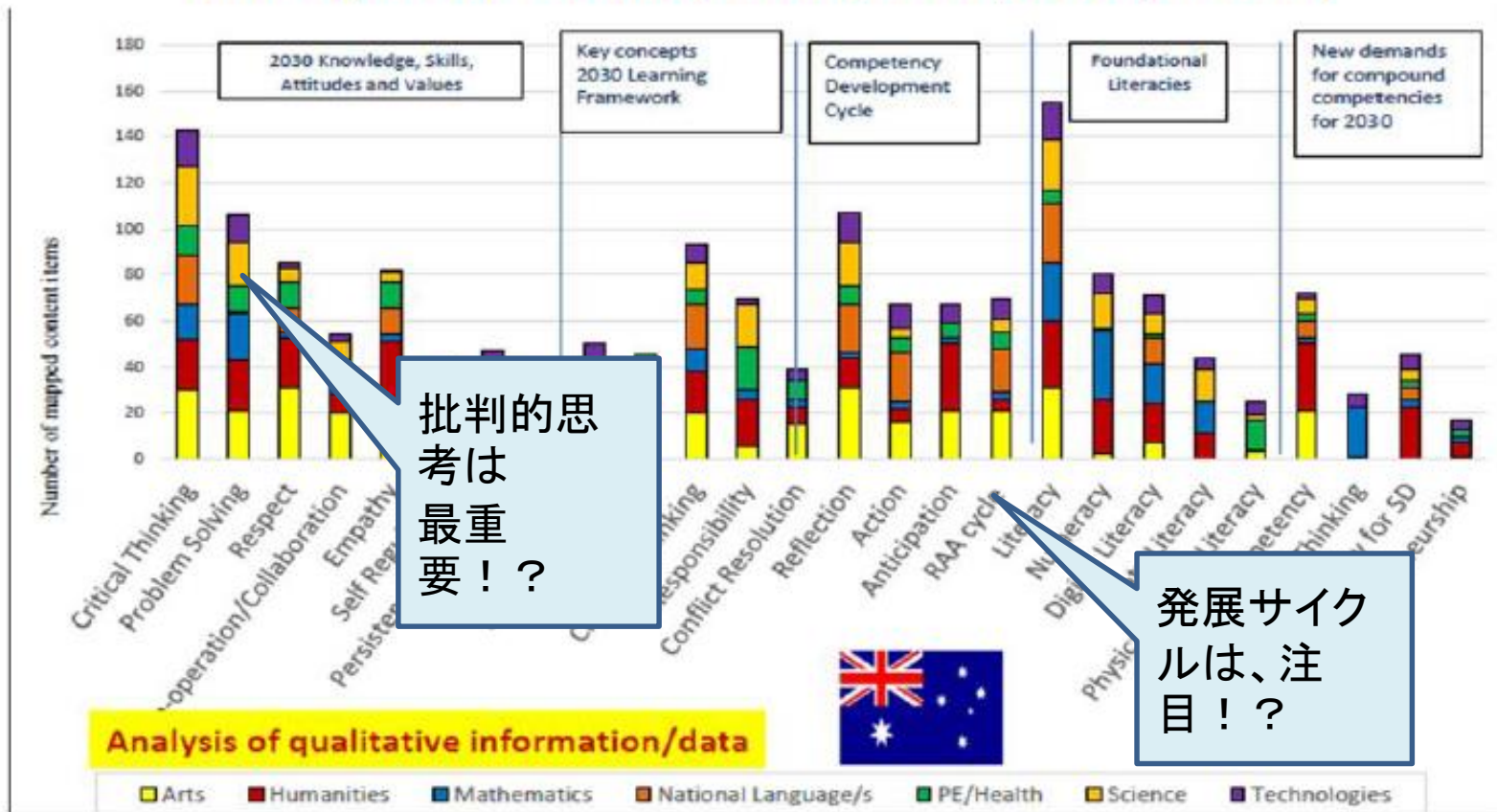
31

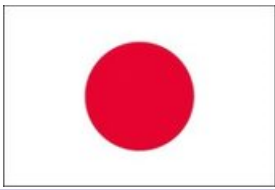
Some of the new demands are accommodated in

current curriculum, others are less articulated/explicit

Current curriculum and 2030 aspirations : preliminary findings of mapping exercise

Main target competencies by learning areas (ISCED 2, Australia)





カリキュラムに取り入れられているもの

カリキュラム取り入れられているもの

生徒の自発活動  
協働 尊敬  
コミュニケーション  
問題解決力  
教科連携  
カリキュラムマネジメント

批判的思考力  
レジリエンス(葛藤・変化に順応)  
共感 感情移入  
ニューメラシー  
創造的思考  
グローバルコンピテンシー

カリキュラムに取り入れられていない  
傾向があるもの または、**ゼロ**

**ある程度**取り入れられているもの

批判的思考力 創造的思考  
レジリエンス 共感 感情移入  
アントレプレナーシップ  
アクション(行動する)  
コンピューターによる思考

アントレプレナーシップ  
(起業家精神)  
生徒の自発活動  
レジリエンス 尊敬  
教科連携 カリマネ(実施済)



## • Japan

- TALIS 2013 had a big impact
- Realize “School as a Team”
- Review/rebuild teaching profession to secure teachers who can lead
- Establish ed. environment

TALIS調査からの 各国の教育政策への影響

日本⇒

「チーム学校へ」「教師のコラボレーション」「教員養成」「教師の自立性」「アクティブラーニング」へ

## • Finland

- Teacher training development
- Acting for a change of education

フィンランド⇒

一人で働くのではなく、さらなるコラボレーションを

## • Norway

- Improvements in feedback

## • UK (England)

- Immediate positive impact on more informed discussion
- Also impacted other parts of the country

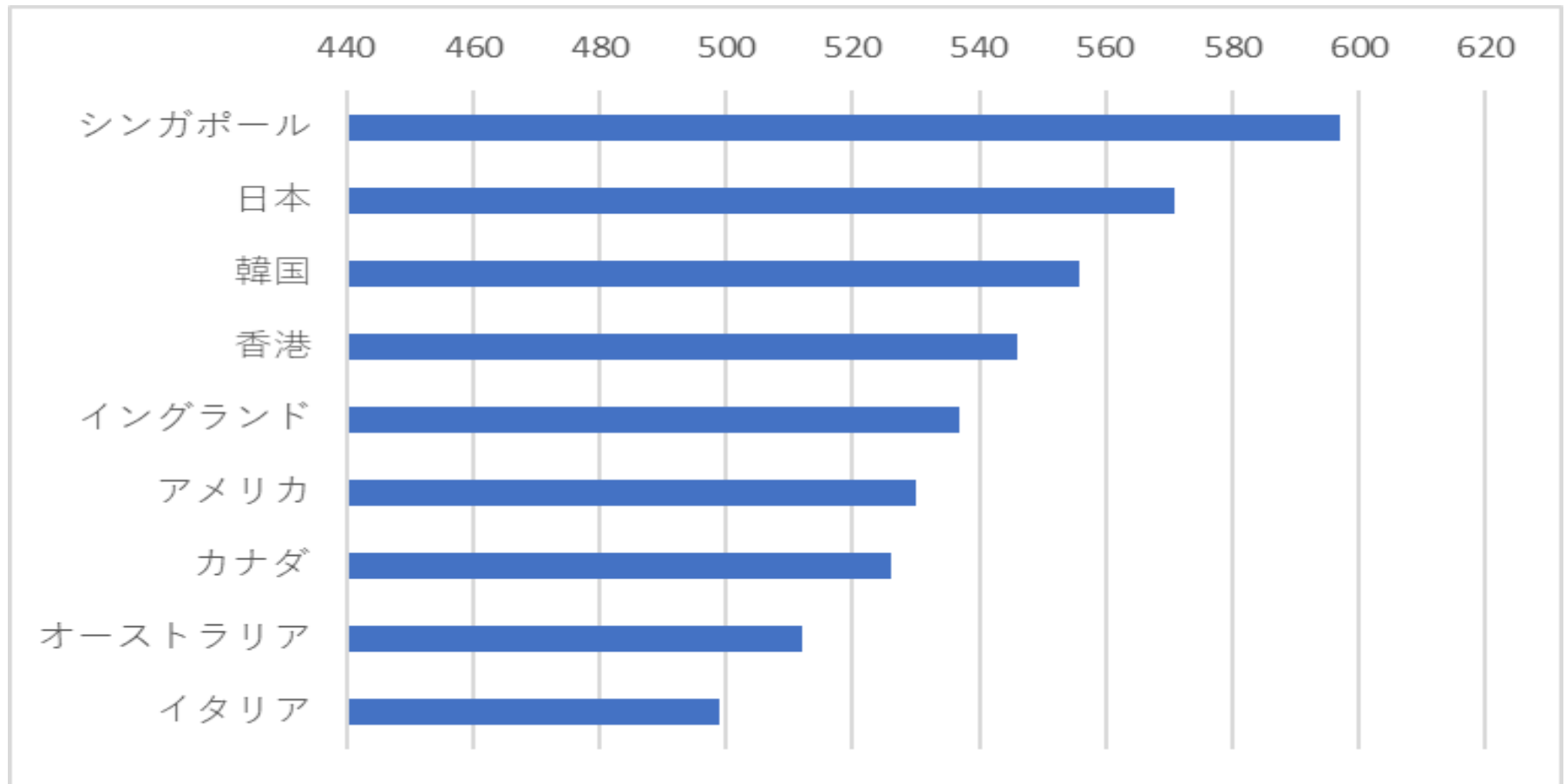
イギリス⇒

システムや学力の弱点克服 議論  
働き方改革（支援・サポート）

2015年結果から補足

# TIMSS調査 理数 最新2015年の調査

(国際数学・理科教育動向調査の2015年調査報告書)において、日本は2位



日本の中2の学力は高い(理数)→

日本の**教師は**、自己効能感が低い。指導はやや知識注入型

日本の**生徒は**、スコアは高いが、知識がいつ役立つかという授業での手ごたえ低い。

# 日本小学校算数 学力テスト

A問題(知識)  
96%

B問題(活用型)  
18.2%

- \* 答えが明確なものに強いが...
- \* 数学の読解は？
- \* 科学的知識を書く・発信は？

## 小学校 算数の例

正答率  
**96.0%**

2007年の全国  
学力調査で出さ  
れた二つの問題

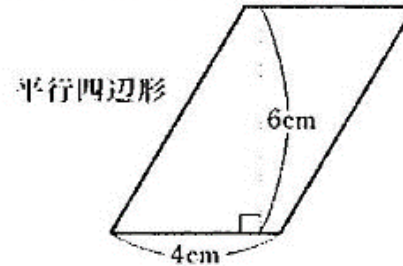
正答率  
**18.2%**

必要な情報を読み取る  
力が求められる問題で  
はさらに正答率が低下

### 主として「知識」に関するA問題

平行四辺形の面積を求める公式を理解し、面積を  
求めることができるか

次の図形の面積を求める式と答えを書きましょう。

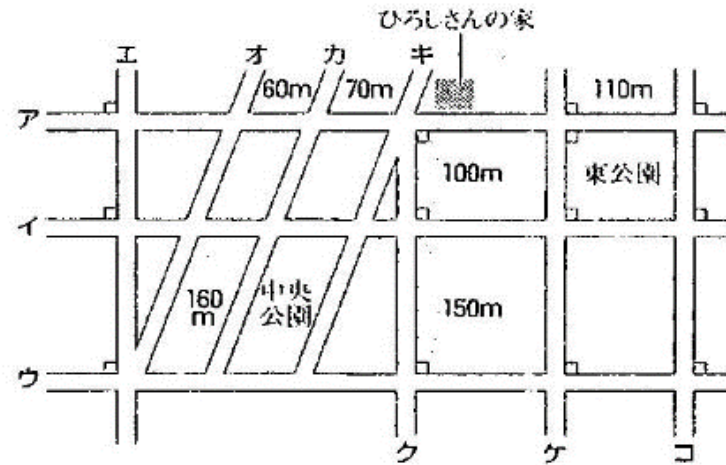


式  $4 \times 6$  または  $6 \times 4$   
答え  $24\text{cm}^2$

### 主として「活用」に関するB問題

与えられた条件を基に地図を観察して図形を見だし、  
面積を比較して説明できるか

ひろしさんの家の近くに東公園があります。東公園の面積と中央公園では、どちらのほうが広いですか。答えを書きましょう。また、そのわけを、言葉や式などを使って書きましょう。



- 道路ア、イ、ウは、平行でそれぞれ道路エ、ク、ケ、コに垂直です
- 道路オ、カ、キは、平行です

答え 東公園の面積のほうが広い。

わけ (例) 東公園の面積は  $100 \times 110 = 11000$  で、 $11000\text{m}^2$  になる。中央公園の面積は  $70 \times 150 = 10500$  で、 $10500\text{m}^2$  になる。だから、東公園のほうが面積が広い。

# 世界のキーコンペテンシー



# 日本の新学習指導要領2020年～は、 グローバル社会から多大な影響

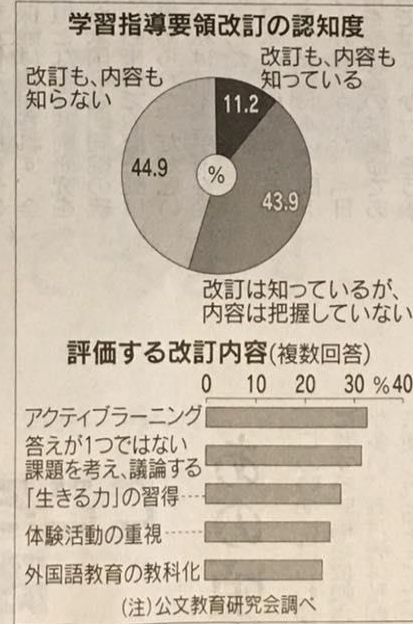
未来を拓く資質・能力の育成にむけて  
社会に開かれた教育課程を構想していく。

1 「何ができるか」から「何をまなぶか」と「いかに学ぶか」  
を検討し、特色ある教育課程をデザインする

2 生きて働く「知識・技能」の習得 未知の状況にも対応  
できる「思考力・判断力・表現力」の育成 学びを人生に  
生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」の涵養

3 学校目標を実現するカリキュラムマネジメントと主体的  
・対話的で深い学び(アクティブ・ラーニング)

変化の激しい予想が困難な社会にむけて「自立」した個人  
が知恵を出し合い「協働」して「創造的」に問題解決を  
図るため、学びの問い直しが必要。



## データ

2020年度に全面実施される  
小学校の新学習指導要領。公  
文教育研究会(大阪市)が17年

指導要領改訂「知らない」44%

11月、小学1～3年の保護者計  
1200人に行った調査では、  
44.9%が改訂を知らなかった。  
改訂は認識する一方、内容を把  
握していないのは43.9%。内  
容まで理解する保護者は11.2  
%にとどまった。  
改訂内容の簡単な説明を受け  
た後では「学ぶ方法としてのア  
クティブラーニング」は32.6  
%が「評価する」と答えた。31  
・5%の「答えが1つではない  
課題に子供たちが向き合い、考  
え、議論する」が続いた。「外  
国語教育の教科化」に対する評  
価は5位の23.8%だった。  
調査対象の保護者は母親が1  
000人、父親が200人。

「21世紀型スキル」(OECD)は、日本の  
2020新学習指導要領へ根本的な影  
響を与えています。

これについては、  
ここまです。

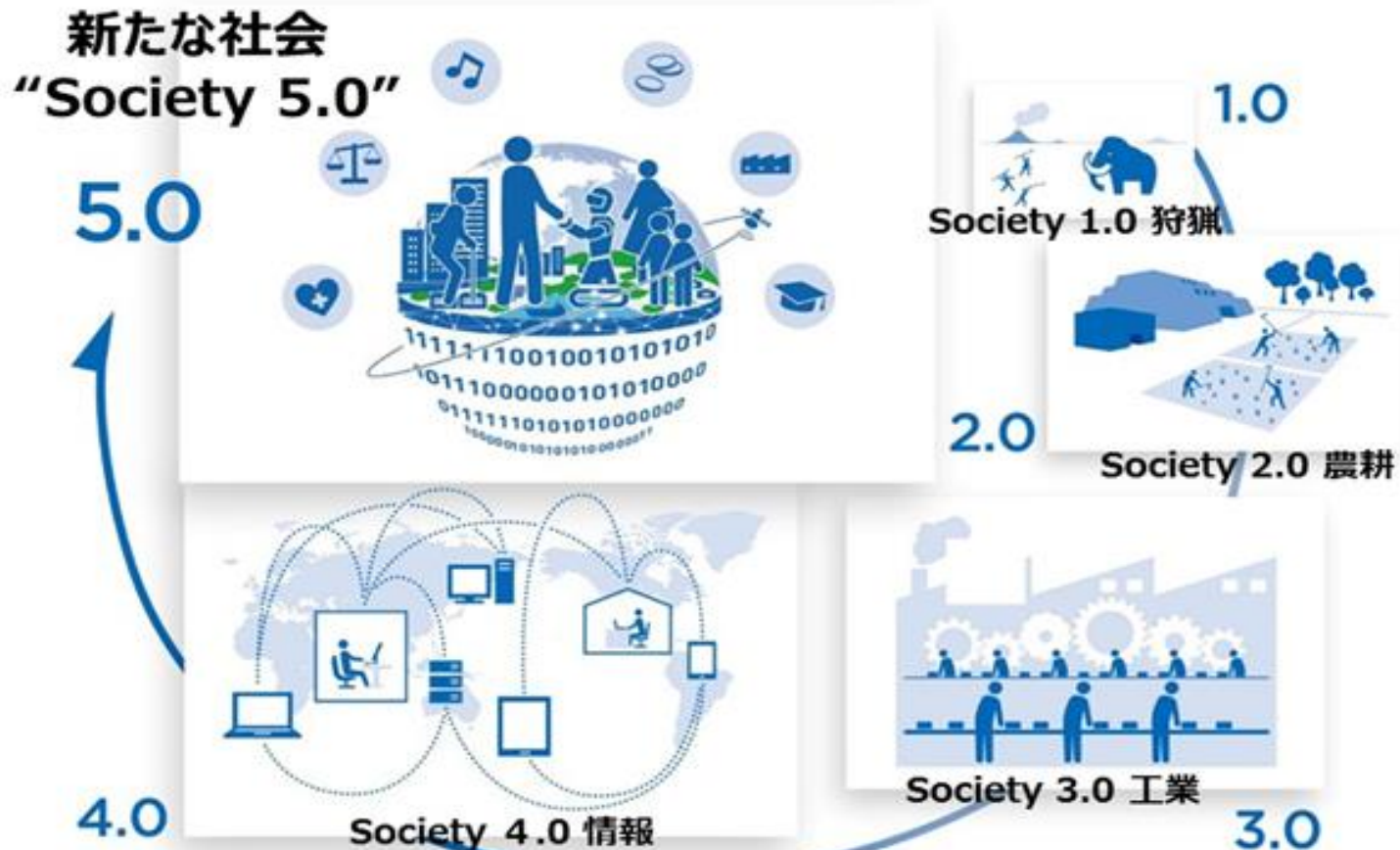
なぜ、対話・思考・探究が  
求められているのか？



Society 1.0 狩猟社会 → Society 2.0 農耕社会 → Society 3.0 工業・産業社会

Society 4.0 情報社会 → **Society 5.0 新たな社会**

デジタル革新、イノベーションを最大限活動して実現する。



# 学校教育では？

AIと共存していく社会の中で、人間の強みを発揮するには

- 1、文章や情報を正確に読み解き対話する力
- 2、科学的に思考・吟味し活用する力
- 3、価値をみつけ生み出す感性と力
- 4、好奇心と探求力

異分野・異年齢の連携と協働学習の場で。  
個別のニーズに (Individual Differentiation)

〇〇だけ！ 一斉一律 からの脱却→  
「学校だけ」「教師だけ」「紙だけ」でない。

しかし、

子供たちひとりひとは、毎日、「生きづらい社会」で懸命に生きており、Society 4.0に住んでいる。

理想や未来と、現実のギャップは、不安をもたらすこともある。理想の独り歩きを押し付けてはならない。

「生きづらい社会」を、「寛容で、自分もやってみることができる場所」にするために。

教師が全てできるわけではないが、子供が学び合い、テクノロジーや協働を保証して議論させていく、その力量は、身につけていきたい。

(私見)

# お時間があれば:

- ① 渡した資料を読んだり、
- ② 紹介した資料を検索し、興味を引いたグラフや文言などをさがし、世界の文脈の中で日本の教育を考えてみてください。

PISA 2018

OECDホームページ

TALIS 調査 ([www.oecd.org/talis](http://www.oecd.org/talis))

OECD国際教員指導環境調査 (TALIS: Teaching and Learning International Survey) は、学校の学習環境と教員の勤務環境に焦点を当てた国際調査

国立教育政策研究所 (日本語PDFあり)

[http://www.nier.go.jp/kokusai/pisa/pdf/pisa2012\\_result\\_outline.pdf](http://www.nier.go.jp/kokusai/pisa/pdf/pisa2012_result_outline.pdf)

- OECD生徒の学習到達調査より  
（国立教育政策所研究所2012年調査）

<http://www.slideshare.net/OECD/edu/pisa-2012-evaluating-school-systems-to-improve-education>

OECD ホームページ

補足資料

学び方に変革を  
コラボレーション(協働)に変革を

**「大阪教育大学 連合教職大学院  
(スクールリーダーシップコース)  
に是非学びにきてください。**

**現在、26名のM1、30歳～60歳(若手～校長まで)共に議論し研究しています。中央館事務室へパンフ  
入試は年4回 8月 10月 1月 2月**

グローバルリーダーシップ 英語関連プログラムは、  
柏木へ相談を (<https://www.kashiwag-lab>)

# Kazuko KASHIWAGI Osaka Kyoiku University

## 柏木賀津子 外国語教育研究室ホームページ

SLA 第2言語習得への招待 —UBM・Focus on Form・CLIL—



### Blog 日々つばやき

僕は自分の目で見たものしか信じない。けど、この目で見たものはどんな無意味なものでも信じると、『そのうち』なんて言てにらまない。今がその時よ。

Tove Jansson—through Saotkin

[Kazu's blog](#)

Since Aug. 31st, 2018

母語習得理論から得られた知見であるUsage-based

Model：UBMには私たちが知らない間に身に付けた母語獲得のプロセスがあります。私たちはそれを意識することはないのですが、2歳児の頃に体験したはずの人の認知は「手続的知識」の連続で、友達の所作に注意を向けて学ぶほど深まりやすいのです。それは外国語学習にも深い示唆を与えます。UBMやSLAに基づいて、思春期の児童・生徒の学びを理解し、小中連携の英語教育「これなら分かる」という指導に取り組んでみませんか。ゼミでは常に実際の授業実践をおとしたデータ収集と分析を行い、教師としてのピリーフ（臨床）を身につけます。教職大学院では、「グローバルリーダーシップ」「21世紀型スキルと教科連携」にも取り組みます。



### Event J-CLIL西日本

2018年3月大阪教育大学天王寺キャンパスにおいて開催

しました。

2018年5月 輪読会—80名の参加があり盛況でした。

2019年5月 学習会

2019年11月17日（日）12時半—17時に決定！

C. Dalton-Puffer氏招請CLILシンポジウム

大阪教育大学天王寺キャンパスミレニアムホール

支部長（柏木賀津子：大阪教育大学）

副支部長（工藤泰三：名古屋学院大学）

→運営委員

「覚える君から考える君へ」



Kazuko Kashiwagi, Ph.D.  
Osaka Kyoiku University  
Graduate School of Teacher Education  
大阪教育大学 連合教職大学院  
Professor  
Applied Linguistics  
Teacher Development

4-88 Minami-Kawahori Tennoji,  
Osaka, Japan  
〒543-0054 大阪市天王寺区南河堀町4-88

### Description of Research Interest

Major research interest in processes of foreign language learning for early adolescent learners (age 11-14). Current theoretical focus on Usage-based Model, Focus on Form, and CLIL.



### News

◇2019年8月

### Project 企画

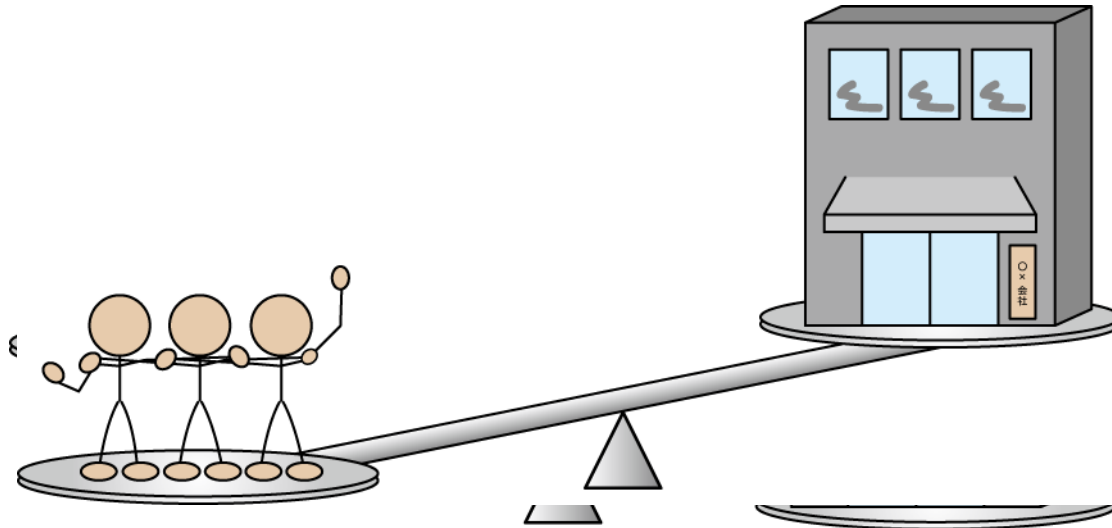


グローバルリーダーシップや英語プログラムは、柏木へ相談を<https://www.kashiwag-lab> (ホームページ)  
kashiwag@cc.osaka-kyoiku.ac.jp



# 多様性への対応

✓ 人と組織の潜在力を持ち上げるテコ



# 世界の人たちと働くために （KFCが社員に求む）

## 日本人に不足している基礎的能力

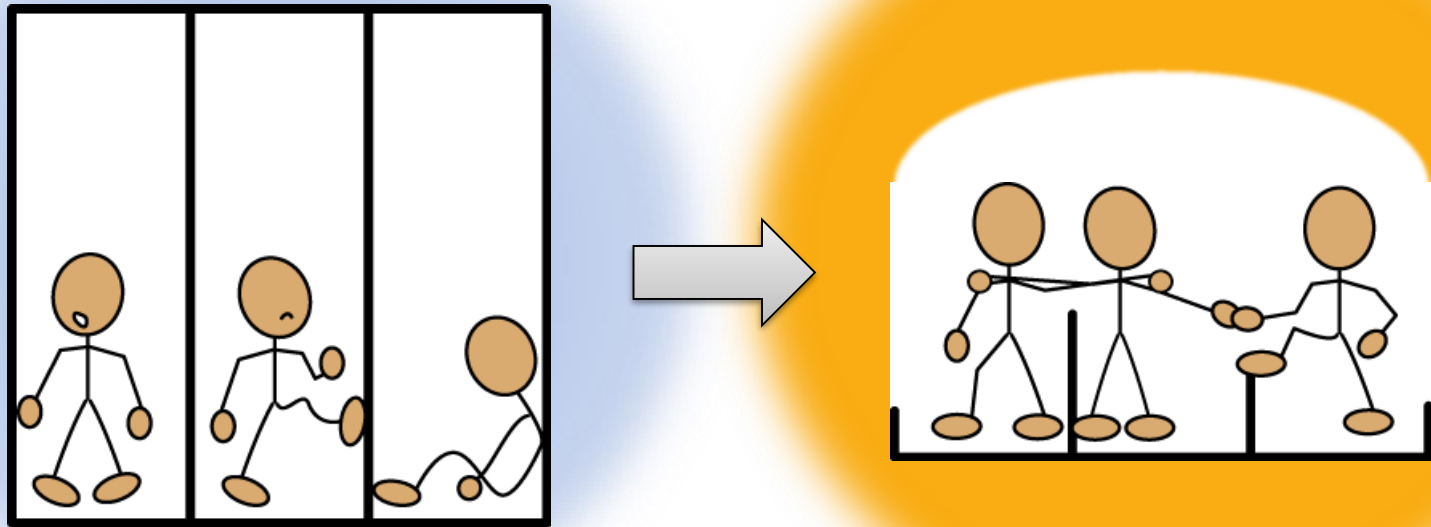
- 1) 語学力
- 2) 想定外の事態に対する危機管理能力
- 3) 異文化理解を含めた多様な人材とのコミュニケーション能力
- 4) 創造的問題解決能力  
（自分で考えて論理的に問題を解決するための力）



多様性対応能力の向上が必要

# 多様性への対応

✓ 力が増幅するクロスファンクショナルチーム



# OECDが目指すキーコンピテンシー(2003年)

「複雑な文脈で異質なグループで相互作用的に言葉やテクノロジーを用い、個人的なプロジェクトを設計し実行する」

カテゴリー1：相互作用的に道具を用いる

- 1-A 言語 シンボル テキストを相互作用的に用いる能力 (Ability)
- 1-B 知識や情報などを相互作用的に用いる能力
- 1-C テクノロジーを相互作用的に用いる能力

カテゴリー2：異質なグループにおいて相互に関わりあう (Interacting)

- 2-A 他者と良い関係をつくる能力
- 2-B 協同する能力
- 2-C 葛藤 (Conflict) を調整し、解決する能力

カテゴリー3：自律的に行動する

- 3-A 大きな展望 (Big Picture) の中で行動する能力
- 3-B ライフプランや個人的なプロジェクトを設計し行動する能力
- 3-C 権利、利害、限界、ニーズを主張する能力

(Ruchen & Salganic, 2003)

PISAの調査は、教育課程の国際的な通用性を見るために生まれた。

それは教育を改善するためのもので、順位を競争するためではないのである。